

「きょうだいの日」

盛り上がったゲーム

親子編



新聞おりおりじゃんけん

新聞紙を1枚ずつ床に置き、上に乗ってじゃんけんをします。じゃんけんに負けた方は新聞を半分にとり、たたまなければなりません。だんだん足を置く面積が小さくなって…地面に足をついたら負け、というゲームです。親子の日は、家族VSシブレンジャーでやってみました。家族全員で1枚の新聞紙に乗っているのが大変！最後はきょうだいさんを抱っこしたり、おんぶしたり、お父さん大活躍だったのです。

かあさん(とうさん)お花をかざりましょりレー

運動会の看板などに見る、お花紙でつくったふわふわのお花と洗濯バサミを用意します。お父さんお母さんは1列に並びます。きょうだいさんとシブレンジャーとでチームをつくり、お父さんお母さんのところに走って行っては花をひとつ、戻って交代して走ってまた花をひとつつけます。きょうだいさんが走り疲れた頃、お花で綺麗に飾られたお父さんお母さんが完成☆

20

青空表彰式

ゲームではないのですが、とってもおすすめ☆表彰状の台紙を印刷して用意し、お父さんお母さんに、きょうだいさんの好きなところ、すてきなところ、表彰してもらいました。「どうせ書くことないんやろ」とか言いながらもわくわくした顔で覗き込んでいるきょうだいさん、照れながらとっても嬉しそうに表彰状を受け取るきょうだいさん、みんな可愛すぎでした。

クラフト系の人気のおそび

ふうせんねんど

クラフト系ならこれが1番！のふうせんねんど。ストローで膨らませることのできるスライムです。きょうだいの日を始めた頃、他のきょうだい会の方に教えていただきました。どろーんとした感触、最初はおそろおそろですが、すぐにわくわくに変わります。上手に膨らませられたら嬉しいし、失敗して変な音が出ても大爆笑☆

ペーパービーズ

親子で作るのにぴったりのクラフト。三角形や長方形に長ーく切った紙を用意し(可愛い包装紙などがおすすめです)くるくる巻いて糊で止め、ビーズにします(ペーパービーズをつくるおもちゃも販売されていますが竹串を使って巻いてつくることもできます)。巻く前に、親御さんにきょうだいさんへのメッセージを書いてもらったり、きょうだいさんが願い事を書いたりして、ひとつ秘密のビーズを作り、いろんなビーズと組み合わせてゴム紐に通してブレスレットを作ります。

缶バッジ作り

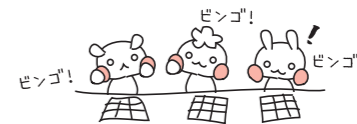
簡単に缶バッジを作ることのできるおもちゃとキットを使って、自分で描いた絵を缶バッジにします。親御さんがきょうだいさんのバッジをつくったり、きょうだいさんが親御さんにつくってあげたり、事前に写真を用意しておけば、お気に入りの家族写真のバッジをつくることもできます。

自己紹介いろいろ

子どもたちは自己紹介が苦手です。「じゃあ今から自己紹介…」と言いかけるだけで、「えーっ」「いやー」の声をあげる子、ちょっと緊張して表情が硬くなる子、不安そうな顔になる子…。うんうん、ドキドキするよね。大人だってそうだもんね。そんなわけで、もちろん自己紹介しなくてもよいのですが、名前と年齢ぐらいはお互い知る機会があるといいかなと思い、無理のない範囲でゲームにして取り込んだりしています。

名前deビンゴ

空白のビンゴのマスを描いた紙を配ります。マスの数は子どもの人数に合わせて。マスの中に周りのお友だちの名前を書き込んでいきます。参加者の名前を書いた紙をあらかじめ箱に入れておき、1枚ずつ取り出し、名前の子を紹介して、マスの名前に○をつけていきます。必ず全員がビンゴになるのですが、それでも「リーチ」「ビンゴ!」「いえーい!」と、かなり盛り上がりました。



お誕生日自己紹介

「1月生まれの人ー?」手が挙がったら、日にちと名前を教えてもらい、「1月生まれの〇〇ちゃん、△△くん、おめでとう!」とみんなで拍手をします。2月生まれ、3月生まれ…と続けて行って、全員終わったら、「みんなうまれてきてくれてありがとう!」で全員で拍手。

21

ならんでならんで自己紹介

よーいドンで、年齢順に並んでもらいます。子どもが子どもに「何年生?」と聞くのはハードルが高そうな時は、シブレンジャーが間に入ります。「あっ、同い年だ!」ってなるとちょっと嬉しい。お誕生日順に並ぶのもよいです。背の順は気にしてる子がいるかもなのでさけます。

だれがどこでなにをした自己紹介

「どこで」の紙、「なにをした」の紙、それぞれいろいろ準備して裏返しにしておき、子どもたちを選んでもらいます。「〇〇ちゃんが、5年前、怪獣とたたかった」「△△くんが、昨日、ソウと逆立ちした」のように、へんてこさをおもしろがるゲームですが、あまりに変だと傷ついてしまう子もいるので、少し考えてつくりまします。シブレンジャーは「なにをした」の札を背中に貼って過ごしました。「桃からうまれた」「1曲ひろうした」別室から戻ってきた親御さんたちは「???」だったのでした。

自己紹介親子編

うちの子の可愛いとこ聞いて聞いて自己紹介

「〜なところがとっても可愛いうちの子、〇〇です」と、可愛いところ、自慢のところ、たくさんの中から1つだけ選んで親御さんに紹介していただきます。子どもたちのはにかんだ可愛い笑顔が見られる自己紹介です。「うちの子〜なところが1等賞」とか、「うちの子の〜なところが大好き」などの応用編も。

うちの子の好きなもの自己紹介

子どもにとって、親御さんが自分の好きなものを知ってくれていることは嬉しいことです。きょうだいさんの好きなもの、親御さんに3つ書いてもらって、答え合わせをするゲームを通して自己紹介をします。好きな食べ物、好きなテレビ番組、好きなあそび…親御さんの知らなかった好きなものを知る機会になってもすてきです。